



NHO Shibukawa Medical Center

ウイズ

— No.83 —

平成 28年8月 (2016年)

編集発行

独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

電話 0279-23-1010

FAX 0279-23-1011

E-mail:shibukawamc@hosp.go.jp

http://www.hosp.go.jp/~shibukawamc/

渋川医療センター 広報誌



群馬県の地域医療再生計画に基づき、国立病院機構西群馬病院と渋川市立渋川総合病院は統合し、平成28年4月1日国立病院機構渋川医療センターとして発足いたしました。どうぞよろしくお願い致します。

基本理念

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携しその役割を果たします。

基本方針

1. 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します。
2. 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います。
3. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します。
4. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児(者)の専門病院として社会に貢献します。
5. 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します。
6. 災害拠点病院として、災害時の傷病者の受け入れ、医療救護班(DMAT)の派遣を行います。
7. 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します。
8. 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます。

目次

新採用者オリエンテーション・新職員歓迎会	1
白井宿 八重ざくら祭りに参加しました。	2
渋川ロータリークラブより車椅子を寄贈いただきました。	3
重症心身障害病棟「春まつり」	4
全国国立病院院長協議会関東信越支部総会・勉強会を開催しました。	5
「第18回 市民公開セミナー」を開催しました。	6
「第33回 渋川へそまつり」に参加しました。	7
平成28年度 職員互助会総会・納涼会を開催して	8

シリーズ

●我が家のアイドル・私の自慢	8
●重症心身障害病棟だより 「家族面談」について・楽しかったいちご狩り	9
●患者さんにとって耳寄りな情報 「院外処方箋」について	10
●外来診療担当医表	11
●セカンドオピニオン担当表	13



新採用者オリエンテーション・歓迎会

教育担当看護師長 田崎 千代



平成28年度渋川医療センターとして新採用者と異動者を含め、新たに154名の仲間を迎えました。4月1日には辞令交付や病院長訓示があり、各々の引き締まった、新たな職場への期待に満ちた表情が印象的でした。

4月4日から4日間の新採用者オリエンテーションを行いました。全職員対象の内容は2日間、病院の概要や国立病院機構の概況と機能、各部門の概要などについて、各部門長や担当者から、あたたかな激励のメッセージと共に説明を受けました。また、今特に重要性が指摘されている個人情報保護、医療安全、接遇についても講義を受け、社会人として、渋川医療センターの職員として必要な知識を共有しました。職種を問わず全新採用者が同じオリエンテーションを受けることで、職員としての自覚を持ち、病院の理念を実行していくためにも、医療チームの一員として、気持ちをひとつにすることにつながったと思います。3日目からは看護職員対象に、看護倫理や感染管理、病棟ですぐに必要な基礎的な看護技術について実践的な内容を実施しました。副看護師長の指導のもと、看護師として新しい一歩を踏み出した初々しい一所懸命な姿が見られました。

オリエンテーション期間中には新採用者歓迎会も開催されました。病院長より言葉をいただき、自己紹介や各部門のアピールタイムなど、アットホームな時間となりました。このような雰囲気の中、職員が心を一つにして渋川医療センターとしての役割や責務を果たしていくためにも、新しい仲間とも力を合わせて頑張っていきたいと思います。



4月1日付で看護師免許証
が交付されました



白井宿 八重ざくら祭りに参加しました。

管理課長 竹下 秀之

平成28年4月24日(日)白井宿の八重ざくら祭りに今年で4回目の参加となりました。

今年は26人もの『お祭り好き』に参加いただき、大いに盛り上がりました。

日差しも弱く、あまり暑すぎなかったことや、26人という大人数で山車を引いたこともあり、例年に比べ余裕のある山車引きになったと思います。大きなけがもなく終了することができました。

終了後の慰労会には10人ほど残っていただきました。地元自治会のおもてなしを受け、好評のうちお開きとなりました。

みなさんに「楽しかった」といっていただき、大変励みになりました。来年はもっと参加していただけるよう、アピールしていきたいと思います。



澁川ロータリークラブより車椅子を寄贈いただきました。

管理課長 竹下 秀之

平成28年4月5日(火)、澁川ロータリークラブの創立60周年記念事業の一環として、澁川医療センターに10台の車椅子を寄贈いただきました。

当日は、澁川ロータリークラブの同事業実行委員長である森田均様を始め、大勢のロータリークラブ会員の方がお見えになり、澁川医療センターからは斎藤院長、横江特任院長補佐、蒔田副院長、棚橋特命副院長、宮崎事務部長、水江看護部長に出席いただき、寄贈式が執り行われました。

森田実行委員長より「この車椅子は、ロータリークラブの新しいスローガンである『広げよう視野を 深めよう地域愛』を具現化したものです。」とお言葉をいただき、斎藤院長より「大切に使用させていただきます。」と感謝の言葉をいただきました。

現在この車椅子は外来患者さんの移動に使用させていただいており、大変役立っております。この車椅子が地域の皆さんの期待の表れであることを念頭に置き、大切に使用していきたいと考えております。



斎藤院長と森田実行委員長



新品の車椅子10台いただきました



目録贈呈の様子

重症心身障害病棟「春まつり」

療育指導室 保育士 長谷川亜由美

平成28年5月13日、渋川医療センターへ移転して初めての大型行事「春まつり」が開催されました。会場となったのは100名以上の参加者が一堂に介することのできる3階のホール「療育訓練室」、そして重症心身障害病棟の「3東・3西」です。昨年度までは西群馬病院の屋外訓練場にテントを張り行っていたもので、本年3月末の移転を受け、今年度からは屋内で実施することとなりました。

今回の春まつりのテーマは「花」。参加される皆さんに春を感じていただける内容にしようと、移転前からたくさんのお花を作り、訓練室いっぱいに飾りつけました。当日、開始に合わせ病棟から次々と移動してくる利用者様やご家族からは「きれいねえ」という声も聞かれ、好天に恵まれ見晴らしのよい3階からの景色と共に、春の雰囲気を感じていただけたと思います。

春まつり第1部は、「花のタワー制作」と「〇×クイズ」を参加者全員で行いました。花のタワーは、療育訓練室の天井の高さを活かし、引っ越しに使用した段ボールを積み上げ2m以上もあるタワーを制作。最後の2段を積み上げるときには、皆さんから自然に拍手がわき起こるほど大変立派なタワーができあがりました。〇×クイズでは、用意した15問中14問まで進むという接戦を繰り広げて優勝者が決定。院長先生からトロフィーと花束を贈呈していただきました。また第2部はウォークラリーとし、3東・3西病棟全体をぐるりと一周していただくことで、移転後まだ足を踏み入れたことのない場所も見ることができ、新しいセンターに親しみを持っていただけたのではないかと思います。

移転後初の大型行事は、皆さんのご協力を得て楽しく事故なく実施できましたが、新しいこの環境では、様々な行事がまだまだ発展途上です。これからも皆さんに楽しんでいただけるようバラエティに富んだ企画を立て、実施していきたいと思っています。



全国国立病院院長協議会関東信越支部総会・勉強会を開催しました。

管理課長 竹下 秀之



勉強会の様子

平成28年6月17日(金)に、渋川医療センターにて全国国立病院院長協議会関東信越支部総会と勉強会を開催しました。

当日は気持ちよく晴れた青空の下、関信管内から来られる院長先生方をお迎えすべく、7時30分には病院旗、国立病院機構旗、国旗を掲揚し、準備を始めました。

今回の総会・勉強会を開催するにあたり、初めて病院来られる先生方もおられたため、総会・勉強会に先立ち、院内見学ツアーも実施いたしました。

広い庭園を有する緩和ケア病棟、6階の病棟では日当たりのよい食堂デイルーム、7階病棟から出ることができる屋上からの眺望、日本で2台目の導入となったエレクトラ社製の放射線治療装置など、当院自慢の場所を見学いただきました。

また、渋川医療センターでは新築整備工事を行う際、大規模な埋蔵文化財発掘調査を行い、その成果を「白井掛岩遺跡発掘調査展示コーナー」として、外来エントランスホールに展示しており、こちらも見学していただきました。

総会では平成27年度会計報告を行い、異議なく承認されました。また、勉強会では1演題目に「診療報酬制度の



緩和ケア病棟庭園
(まだまだ整備中です)

展望」と題し、元厚生労働省健康局長西山正徳先生よりご講演いただきました。診療報酬制度の展望の骨子として、「改定率に大きな変化は見られない」、「病床数削減も企図した点数改正」、「混迷する要介護高齢者施設」、「部分的自己負担増加策の影響」、「患者の増減」などを注視すべしと教えていただきました。

2演題目は災害医療センター臨床研究部長小井土雄一先生より「動き始めた新しい災害医療」と題し、阪神淡路大震災からの教訓によりさまざまな対策が生まれてきたことや、本年4月に起きた



遺跡展示コーナー

熊本地震の緊急報告など、タイムリーな話題を提供いただきました。

総会・勉強会終了後は場所を宿に移し、懇親会が催されました。参加いただきました先生方の笑顔にあふれ、和気あいあいとした雰囲気の中、無事終了することができました。

最後に、今回の総会・勉強会に参加いただきました先生方、随行の皆さま、それから準備や当日の対応に協力いただきましたすべての皆さまに感謝申し上げたいと存じます。ありがとうございました。



6階食堂・デイルーム

第18回 市民公開セミナー を開催して



医事課長 水澤 秀行



斎藤院長による開会挨拶

7月9日(土)
14時より当院
にて、「**渋川医
療センターでできるがん診療**」
と題して「第18
回市民公開セミ
ナー」を開催し

に斎藤龍生院長の開会挨拶に始まり、引き続き当院、横
田徹がん診療部長を座長に講演を2題行いました。

1題目は、田村芳美泌尿器科部長による「**知って得する
泌尿器科腫瘍のあれこれ～早期発見のために～**」です。主
な泌尿器科腫瘍4つについて、ポイントを絞りとても分
かりやすい説明が印象的でした。ご来場の皆さまからの
アンケート結果でも、9割が60歳代以上と関心度の高さ

ました。

昨年までは別会場での開催でしたが、今年は3月に新
病院を開設したこともあり、会場を当院に移しての開催
となりました。

当日は、午後に向かい雨足が強くなる予報でしたが、
幸いにも開演前に雨は小降りとなり、ホッと胸を撫でお
ろしたところです。

開演1時間前より開場しましたが、開演30分前には定
員の200名に達し、以後のご来場の方には大変ご迷惑を
お掛けいたしました。この場を借りて謹んでお詫び申し
上げます。今回の反省点は次回開催時に活かしたいと思
います。

さて、セミナーは2階大会議室を会場に、定刻の14時



田村泌尿器科部長による講演会

が伺われ、皆さま熱心に聴いておりました。

続いて2題目は、永井香恵がん化学療法認定看護師に
よる「**抗がん剤との上手なつきあい方**」です。幾つかのポ
イントを丁寧に説明され、最後の「**いかに副作用とつきあ
うか**」という言葉が印象に残りました。

講演会も盛況に終わり、15分の休憩を挟み、次は会場
を1階エントランスホールに移してのコンサート(オペラ
独唱)です。今年も「**めいたオペラ**」さまのご協力により、
バトリン・ソプラノ・ピアノによる3人構成での演奏で
した。ホールに響く心地よい演奏の中、参加者全員の合
唱で終わりました。

最後に渡邊覚統括診療部長の開会挨拶で、約2時間の
プログラムは無事終了しました。今後も皆さまからの声
を大切に、セミナーを発展させたいと思います。



「めいたオペラ」様によるミニコンサート

「第33回渋川へそ祭り」 に参加しました！

企画課長 関川 義明

群馬県渋川市は、昔から「日本のまんなか」との言い伝えがあるそうで、昭和59年より毎年7月下旬に「渋川へそ祭り」を開催し、夏の名物、風物詩として市民に親しまれ、今年で33回目となり、西群馬病院時代の参加から早5回目を迎えることとなりました。「へそ出せ、よいよい！」の掛け声と馴染み深い「へそ音頭」に合わせて市内を練り歩く「はら踊り」「ゆかた踊り」のパレードは、病院行事としても既に浸透し、地域交流の場としても大変有意義であります。以下に参加者からの声を届けたいと思います。

企画課 診療情報管理士
丸橋 未祐

平成28年7月23日に、渋川市で開催されたへそ祭りに参加しました。私は浴衣踊りで参加し、開始前の練習では少し緊張感もありましたが、久しぶりに浴衣を着ることができたことに嬉しさもありました。衣装や踊りは団体によって個性豊かで、踊りながら観客としても楽しむことができたと思います。雨が降りそうな心配はありましたが、私が想像していたよりも会場周辺は賑わいを増して、出店やお祭り独特の香りなど夏らしい雰囲気を感じました。休憩時間などは他職種の方とも会話をし、診療情報管理士の私にとって医療職の方々の話題はとても興味がありました。私は4月入職で話したことの無い人も多かったため、新しい出会いの場ともなった今回のお祭りは、とても有意義な時間

だったと思います。先日は納涼会にも出席しましたが、このような様々な年代・職種を越えての交流が、今後の仕事においてもプラスになればと思いました。

副臨床検査技師長
仲間 盛之

梅雨の明けない7月23日(土) 渋川市の一大イベント「へそ祭り」に参加しました。日本の中心に位置する渋川の会場周辺は「東京の渋谷」に負けにくいくらいの人込みで大変な盛り上がりを見ることが出来ました。我々渋川医療センターの参加者は斎藤院長先生をはじめ総勢55名が「ゆかた踊り」と「はら踊り」に参加しました。4月より赴任してきたお祭り好きの私は、これまでテレビのニュースや特集番組でしか見たことがない「へそ祭り」に参加することをとても楽しみにこの日を待っていました。当日の午後、これ

までビールで育て上げたでっぶり腹に白粉を塗って愛嬌のある顔を描いてもらい、パレード会場に向かい「へそ祭り音頭」に合わせ一生懸命踊りました。特にメイン会場を通過する際には沿道からの観客も多く、お恥ずかしい裸体をさらけ出しながらも気合充分に飛び跳ねました。パレードの時間が半分を過ぎる辺りから足腰が重く日頃の運動不足を痛感した次第です。来年は、もっと気合を入れてずっと踊り続けられるように足腰を鍛えたいと思います。あと更なるでっぶり腹を育てるためにも、美味しい泡を飲み続けたいと思います。また、来年も楽しみましょう。



平成 28 年度 職員互助会総会・納涼会を開催して

庶務班長 山岸 秀樹



横江特任院長補佐による乾杯

で行こう！と熱いメッセージをいただきました。

続いて、横江特任院長補佐の乾杯の発声で納涼会が開始され、先輩・後輩、上司・部下、初めてお会いする他部署の職員どうしも杯がすすみ、和やかムードで進行しました。

納涼会も中盤になり、恒例のビンゴ大会となりました。狙い目商品



納涼会風景

平成28年7月22日（水）19時よりアネーリ渋川において、渋川医療センター互助会総会・納涼会が行われました。

今年は、渋川医療センターとして行われる初めての納涼会ということもあり169名と大勢の職員の参加がありました。（当日勤務の方には申し訳ございません。）

冒頭、斎藤院長からは、日頃の職員へのねぎらいのお言葉と渋川医療センター開院後、職員一丸となって向かって



納涼会風景

として、「ディズニーパークペアチケット」、「松坂牛肉1キログラム」等々、次々に消えていきました。最後は同順じゃんけんで商品が無くなるとため息に変わり、会場は大きく沸き上がりました。

終始、和気あいあい賑やかに納涼会は進み、2時間はあっという間に過ぎました。最後は、蒔田副院長の締めで納涼会は盛大のうちに終了しました。

次回は12月の伊香保温泉での忘年会です。このようなイベントは職員の懇親の場として、病院の活気づくりには大切なものであり継続していきたいと思います。

我が家の アイドル

アイドルNo.1 Mさんの孫



七夕生まれで2才になった初孫です。甘えん坊で人見知りのYUIちゃん。爺とは離れて生活しているため、毎日顔を見ることができません。

可愛いYUIちゃん。また会いに行くね。

その時は「顔見て泣かないでね。」

【事務部 Mさん】

※このコーナーは職員の家庭のアイドルを紹介しています。

私の趣味・ペット・自慢

趣味編 クラシックカー

1967年製造アルファロメオ1600スパイダー「デュエット」と言います。

平成16年に中古(当たり前)で購入しレストア(再生)しました。天気のよい日曜日の朝、榛名山を走ったり、各種イベントに出たりしています。昨年は晩秋の北軽井沢(気温3度)をオープンで走り納め。「寒ぶかったあ〜。」

※同好の士募ります。

【マルコメK】



※このコーナーは職員の趣味などの紹介コーナーです。



重症心身障害病棟だより

今年も家族面談を実施しました

児童指導員 中嶋 歩

5月の中旬に12日間かけて全利用者様を対象とした家族面談を実施しました。渋川医療センターに移り、初めて行う面談は新しく見晴らしが良い療育訓練室で行いました。また、今年度から小児科の石北先生が常勤で来られ、担当利用者様以外の面談にも同席し、医療面での相談に答えていただきました。当院の家族面談は、利用者様一人ひとりに対して作成した個別支援計画書の内容をご家族や後見人の方に説明をし、支援内容を理解していただくことを主な目的としています。個別支援計画書の説明と同意に関しては療育指導室のサービス管理責任者が中心に担いますが、今年もこれまで同様に医師、看護師、薬剤、リハビリ、療育指導室と、それぞれの担当者が会場に集まり専門的な立場からお話をさせ



ていただきました。また、個別支援計画書の説明だけでなくご家族が日頃感じている不安や悩みを打ち明けていただく機会としての位置づけもあります。今回お話いただいた要望等は職員として大切に受け止め、利用者様のQOLの向上に少しでも繋げられるよう努めていきたいと思っています。

今後も、各部門のスタッフが相互に連携を図り、ご家族や後見人の方と一緒に利用者様主体の支援を考えていきます。



楽しかったいちご狩り

主任保育士 登坂 美智子

4月、渋川医療センターになって初めての戸外活動「いちご狩り」に行ってきました。場所は毎年お世話になっている赤城町の原田いちご園です。当院のマイクロバスと軽トラックでピストン移送し、4日間の日程で行い、東病棟22名、西病棟17名の利用者様が参加しました。4日間とも天候に恵まれ、距離的にも近くなったので、ゆっくりといちご狩りを楽しむことができました。ハウス内は適度に風が入りいちごの甘い香りがいっぱい広がって、目にも鮮やかな真っ赤な実に自ら手を伸ばして採ろうとする利用者様もいました。ミキサー食を召し上がられている利用者様や経管栄養の方はすり鉢を使用してすり潰し、いちごの汁を中心に安全に召し上がっていただきました。いちごは甘みと酸味が異なる4種類があり、食べ比べをしたり、好みのいちごを見つけたりと参加した全員がいちご狩りを満喫することができました。帰りの車内では満足そうな表情を見せる利用者様や「～が一番おいしかった」と嬉しそうに感想を話すご家族で賑やかなひと時を過ごしました。ご家族からも「来年もお願いします」と人気の活動なので、来年もたくさ



んの利用者様やご家族に参加していただけるよう企画していきたいと考えています。

—患者さんにとって耳よりな情報—

今回は「院外処方について」

医事課長 **水澤 秀行**

院外処方とは

院外処方とは、厚生労働省が進める「医薬分業」制度です。

院外処方により、複数の医療機関を受診した患者さんなどが「かかりつけ薬局」を持つことで、安全で効果的な薬物療法を受けられるようになります。

当院においても、外来患者さんへの処方、原則「院外処方せん」としています。



院外処方によるメリット・デメリットについて

院外処方によるメリット・デメリットは、主に次の点が挙げられます。

主なメリット

- ・薬の受け取り時間が短くなります。
- ・どこかの調剤薬局でもご利用になれます。
- ・薬について、十分な説明と丁寧な服薬指導を受けられます。
- ・お一人お一人の薬歴を管理し、重複投薬による危険防止や、相互作用による副作用防止に繋がります。

主なデメリット

- ・費用が若干高くなる場合があります。
- ・調剤薬局に行く手間がかかります。
- ・病院でもらう薬とは違う不安感を感じることがあります。

院外処方へのご理解について

病院でもらうことのできた薬が、院外の調剤薬局に行くことにより「二度手間」を感じるかもしれませんが、しかし、調剤薬局では「薬をより安全に確実に服用していただく」ために「**薬歴の記録**」や「**服薬指導**」を行っています。患者さんを守るために必要な行為である、ということをご理解ください。

なお、調剤薬局では薬と併せて「**お薬手帳**」が渡されますので、大切に保管いただき、受診や入院する際には忘れずにご持参ください。

当院の「処方せんファクス送信コーナー」のご利用について

当院では、**1階エントランスホール会計窓口隣**に「**処方せんファクス送信コーナー**」を設けています。ご自宅の近くなど、ご希望の調剤薬局を選べますので是非ご利用ください。



処方せんの使用期間（有効期限）について

処方せんには使用期間（有効期限）があることをご存じでしょうか。病院や診療所で交付される処方せんの使用期間は、**交付の日を含めて4日以内**です。これには、**休日や祝日が含まれます**。使用期間が過ぎないようにご注意ください。

なお、長期の旅行等特殊の事情があり、医師や歯科医師が、処方せんに別途使用期間を記載した場合には、その日まで有効となります。

処方せんの有効期限は
発行日を含めた4日間です

お早めに
調剤薬局へ
お持ちください

処方せん
4日

澁川医療センター



渋川医療センター外来診療担当医表

	時間帯	月	火	水	木	金
総合診療内科	午前	アクサフ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクサフ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクサフ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクサフ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクサフ ノブヒロ 阿久澤 暢洋
	午後	アクサフ ノブヒロ 阿久澤 暢洋(予約)		アクサフ ノブヒロ 阿久澤 暢洋(予約)		アクサフ ノブヒロ 阿久澤 暢洋(予約)
呼吸器内科 1	午前	オオサキ タカシ 大崎 隆	イシジマ ヒロノブ 飯島 浩宣		トミザワ ヨシオ 富澤 由雄	クワコ トモヒト 桑子 智人
	午後					
呼吸器内科 2	午前	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	オチアイ マイ 落合 麻衣	ツチヤ ユキコ 土屋 友規子	サクライ レイコ 櫻井 麗子	ワタナベ サトル 渡邊 寛
	午後					
呼吸器内科 3	午前	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	サワダ ユリ 澤田 友里	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生		
	午後					
循環器内科	午前	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治	イワサキ トシヤ ※岩崎 俊弥 (北関東循環器)	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治	クマクラ ヒサオ ※熊倉 久夫 クガヤマ ヨシアキ ※高山 嘉朗 (北関東循環器)	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治
	午後					
内分泌・代謝内科 内 科	午前	タガヤ ユウコ 多賀谷 裕子 (内分泌・代謝内科)			カワシマ チエコ 川島 智恵子 (内科)	マツモト シュンイチ 松本 俊一 (内分泌・代謝内科)
	午後					
小 児 科 (予 約 制)	午前		イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	
	午後			シミズ ノブノウ 清水 信三(重心)		
血液内科 1	午前	イシカワ テツヤ 石川 哲也	イソダ アツシ 磯田 淳(予約)	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生(新患)
	午後		オガワ ヨシユキ 小川 孔幸(第2予約)			
血液内科 2	午前	イソダ アツシ 磯田 淳	ミヤザワ ユリ 宮澤 悠里	ミヤザワ ユリ 宮澤 悠里	イソダ アツシ 磯田 淳	
	午後					
血液内科 3	午前		サウムラ モリオ 澤村 守夫	イシカワ テツヤ 石川 哲也	ミヤザワ ユリ 宮澤 悠里(予約)	
	午後			イシカワ テツヤ 石川 哲也(予約)		
消化器内科 1	午前	ナガシマ ヨシミ 中島 良実(群大)	ナガシマ タモン 長島 多聞	ヤマザキ ユウイチ 山崎 勇一(群大)	アライ ヨウスケ 新井 洋佑	フルヤ ケンスケ 古谷 健介
	午後					
消化器内科 2	午前				カキザキ サトル 柿崎 暁(第2・4)	
	午後					
緩和ケア科 (予 約 制)	午前					
	午後	コバヤシ ゴウ 小林 剛		コヤ ヒロコ 小屋 紘子	コヤ ヒロコ 小屋 紘子	コバヤシ ゴウ 小林 剛
精神腫瘍科 (予 約 制)	午前					
	午後	マヅマ タケヒコ 間島 竹彦			マヅマ タケヒコ 間島 竹彦	
放射線治療科 1 (予 約 制)	午前	マツウラ マサナ 松浦 正名	イマエダ マスミ 今枝 真澄	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	マツウラ マサナ 松浦 正名	イマエダ マスミ 今枝 真澄
	午後	マツウラ マサナ 松浦 正名	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	ナカムラ ユウジ ミヤカ ヨウヘイ 中村 勇司/宮坂 勇平(群大)	マツウラ マサナ 松浦 正名	ナカムラ ユウジ 中村 勇司
放射線治療科 2 (予 約 制)	午前	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	イマエダ マスミ 今枝 真澄	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	マツウラ マサナ 松浦 正名
	午後	ナカムラ ユウジ 中村 勇司				マツウラ マサナ 松浦 正名

	時間帯	月	火	水	木	金
外科 1 (消化器)	午前	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	ヨシナリ ダイスケ 吉成 大介	コバヤシ ミツノブ 小林 光伸	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文
	午後					
外科 2 (消化器)	午前		ナカジマ ジュン 中嶋 潤		クラバヤシ マコト 倉林 誠	
	午後					
外科 3 (呼吸器)	午前	アツミ ジュン 渥実 潤		カワシマ オサム 川島 修		カワシマ オサム 川島 修
	午後					
脳神経外科	午前	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司
	午後			ホリグチ ケイシ 堀口 桂志(群大)		
整形外科 1	午前		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一(群大)		ヤナガワ タカシ 柳川 天志(群大)	
	午後		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一(群大・予約)		ヤナガワ タカシ 柳川 天志(群大・予約)	ワタナベ ヒデオミ 渡邊 秀臣(第1金・予約)
整形外科 2	午前	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知(予約)	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知		カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	
	午後					カヤカベ マサトモ 加家壁 正知(予約)
泌尿器科 1	午前	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	※ 岡部 和彦 カトウ ハルオ ※ 加藤 春雄	タムラ ヨシミ 田村 芳美	カトウ ハルオ 加藤 春雄
	午後	タムラ ヨシミ 田村 芳美(予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美(予約)		カトウ ハルオ 加藤 春雄(予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美(予約)
泌尿器科 2 (10:00まで)	午前	カトウ ハルオ 加藤 春雄	カトウ ハルオ 加藤 春雄	タムラ ヨシミ 田村 芳美	カトウ ハルオ 加藤 春雄	タムラ ヨシミ 田村 芳美
	午後					
耳鼻咽喉科	午前					
	午後	※ サカクラ コウイチ 坂倉 浩一 チカマツ カズアキ ※ 近松 一朗 (群大)				
皮膚科 1	午前	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義
	午後					
皮膚科 2	午前		サイトウ シンタロウ 斎藤 晋太郎 月2回(群大)			
	午後					
甲状腺科	午前	ヨコタ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹		ヨコエ タカオ 横江 隆夫
	午後			ヨコタ トオル 横田 徹(予約)		
乳腺科	午前	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫		ヨコタ トオル 横田 徹
	午後		ヨコタ トオル 横田 徹(予約)			ヨコタ トオル 横田 徹(予約)
眼科 1	午前	ソテヤマ ヒロタケ 袖山 博健	ソテヤマ ヒロタケ 袖山 博健	ソテヤマ ヒロタケ 袖山 博健	ソテヤマ ヒロタケ 袖山 博健	ソテヤマ ヒロタケ 袖山 博健
	午後	ソテヤマ ヒロタケ 袖山 博健(予約)	ソテヤマ ヒロタケ 袖山 博健(予約)	ソテヤマ ヒロタケ 袖山 博健(予約)		ソテヤマ ヒロタケ 袖山 博健(予約)
眼科 2	午前				スズキ コウタ 鈴木 康太	
	午後					
麻酔科	午前		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆			ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆
	午後					

外来受付時間

- 午前受付 8時30分～11時00分
- 午後受付 12時30分～15時00分

※(予約)と記載がある場合は、予約患者さんのみの診療となります。
 ※小児科は、重症心身障害児(者)のみの予約診療となります。
 ※耳鼻咽喉科は、坂倉浩一先生(第1、3、4、5月曜日午後)、近松一朗先生(第2月曜日午後)
 ※循環器内科は、岩崎俊弥先生(北関東循環器病院)(第2、4火曜日午前)
 熊倉久夫先生(第1、3、5木曜日午後)、高山嘉朗先生(北関東循環器病院)(第2、4木曜日午後)
 ※泌尿器科は、岡部和彦先生(第1、3、5水曜日午前)、加藤春雄先生(第2、4水曜日午前)
 ※担当医が変更になる場合もございますので、事前に電話でご確認ください。

セカンドオピニオン担当表 (平成28年8月1日現在)

科 別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午後2時～	—	富澤 由雄	—	—	—
	午後3時30分～	斎藤 龍生	—	斎藤 龍生	—	—
呼吸器外科	午前中	—	—	—	—	川島 修
血液内科	午後2時～	松本 守生	—	—	磯田 淳	—
乳腺・甲状腺外科	午後2時30分～	横江 隆夫 (午後～)	—	横田 徹	—	—
消化器外科	午前中	蒔田富士雄	—	—	小林 光伸	—
放射線科	午後3時～	—	—	松浦 正名	中村 勇司	—
緩和ケア科	午 後	小林 剛	—	—	—	小林 剛
皮膚科	午 後	—	—	—	山中 正義	—
泌尿器科	午後3時30分～	—	—	—	—	田村 芳美
脳神経外科	午 後	—	—	堀口 桂志	—	—

※対象者:原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用:30分毎に5,400円

※お問い合わせ先:TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

患者さんの権利

1. 最善の医療サービスを受ける権利
2. 人格・人権を尊重される権利
3. 知る権利
4. 自己決定権
5. プライバシーを保護される権利

がん相談支援センター

- がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。
担当:ソーシャルワーカー(尾方・山田・山浦・落合)
電話:0279-24-9229(直通)
(受付時間は平日8:30~17:15です)
- メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。
E-mail:shibukawamc@hosp.go.jp

看護の理念 患者さんの立場に立ち、心あたたかく、信頼に応える看護を提供します。

看護の基本方針

1. 患者さんの気持ちを大切に、思いやりとまごころ込めた看護を提供します。
2. 患者さんと共に考える看護の実践により患者さんが自ら意思決定が行えるよう支援します。
3. 地域の人々と連携を図ることで患者さんの生活の質の維持向上に努めます。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重した質の高い看護を提供します。
5. 看護の専門性を追求し、根拠に基づいた安全で安心な看護を提供します。

編集後記

渋川医療センターとして発行する「ウイズ」の2号目「ウイズNo83」如何でしたでしょうか。これからは渋川医療センターの活動や行事を中心に紹介してまいります。

さて、開院して4ヶ月が過ぎました。職員も新しい職場と医療機能とシステムに慣れつつあり、9月1日には休棟していた5東病棟を開棟しフル稼働致します。

北毛地域の基幹病院として地域の皆様に頼りにされるよう職員一同頑張っております。(マルコメK)



独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

〒377-0280 群馬県渋川市白井383番地 TEL 0279-23-1010 (代) FAX 0279-23-1011

<http://www.hosp.go.jp/~shibukawamc>